

## 平成23年度 独立行政法人土木研究所契約監視委員会審議概要

1 日 時：平成24年2月22日（水）13：00～16：20

2 場 所：土木研究所（つくば2階講堂）

3 出席者：委員側：小林委員長、石田委員、千葉委員、早坂委員、松田委員  
土研側：理事長以下関係職員

### 4 議 事

#### (1) 議題等

- ① 随意契約案件について
- ② 一者応札・一者応募案件について
- ③ 一者応札・応募改善に向けての取組について（平成23年度において、前年度に続き更新案件が一者応札・応募となった案件）
- ④ その他

#### (2) 事務局等説明

##### ① 随意契約案件について

「独立行政法人の契約状況における点検・見直しについて（平成21年11月17日付け閣議決定）」の「随意契約理由の妥当性」等の観点から、個別案件毎に説明。

◇ 平成23年度随意契約案件【4件】（12/31現在）（今年度末の見込み21件）  
〈配付資料〉

- ・ 随意契約案件について

##### ② 一者応札・一者応募案件について

上記①の閣議決定の「仕様書内容の見直し」及び「入札参加要件の緩和」等の観点に基づき説明。

◇ 平成23年度一者応札・一者応募個別案件

【107件のうち、74件】（12/31現在）

〈配付資料〉

- ・ 一者応札・一者応募案件について
- ・ 土木研究所における契約状況一覧表  
一者応札率（H21年度39.3%、H22年度33.7%、H23年度25.8%（※））  
※H23年度は、H23.12.31現在

##### ③ 一者応札・応募改善に向けての取組について

平成23年度において、前年度に続き更新案件が一者応札・応募となった案件について、「仕様書の見直し等」外6項目の観点から個別案件毎に説明。

◇ 前年度に続き更新案件が一者応札・応募となった案件

【107件のうち、33件】（12/31現在）

〈配付資料〉

- ・ 一者応札・一者応募案件について

##### ④ その他

契約監視委員会審議を踏まえた改善策の「電子入札システムの導入」、「HPの契約に係る表現の改善」及び「一者応札に関する企業アンケート」について、フォローアップ状況を説明。

〈配付資料〉

- ・ 電子入札について
- ・ HPの契約に係る表現の改善について
- ・ 一者応札に関する企業アンケートについて

## 5 審 議

### (1) 審議結果

#### ① 随意契約案件について

- ・ 随意契約については、全件妥当と評価された。  
なお、今後も随意契約とすることが真にやむを得ないかのチェックを継続していく必要があることとされた。

#### ② 一者応札・一者応募案件について

- ・ 新規案件に係る仕様書内容の見直し等のフォローアップは、全件妥当と了承された。

#### ③ 一者応札・応募改善に向けての取組について

- ・ 平成23年度において、平成22年度に引き続き契約した更新案件が前年度に引き続き2か年連続して一者応札・応募となった案件の「一者応札・応募の改善取組内容」についてのフォローアップは、概ね了承された。  
なお、引き続き、一者応札・一者応募の改善に努めることとされた。

#### ④ その他

- ・ 昨年の契約監視委員会において定めた改善策についてのフォローアップは、概ね了承された。  
なお、アンケート調査については、引き続き、調査方法及び調査内容を工夫し、実施していくこととされた。

### (2) 審議内容（委員からの主な意見等）

#### ① 随意契約案件について

- ・ ソフトウェアの改良に関する業務内容や品質が適正かどうか客観的にチェックする仕組みを検討してはどうか。
- ・ ソフトウェアの改良について、業務上、必要な点は認めるが、他の会社から、システム構築全体ではなく、改良部分の見積を取って、金額のチェックをする必要がある。

#### ② 一者応札・一者応募案件について

- ・ 一者応札・一者応募案件に係る仕様書の内容や参加要件等についての書面審査を実施したが、特に問題となる案件はなかった。

#### ③ 一者応札・応募改善に向けての取組について

- ・ 定期刊行物の配付の目的がPRであれば、本当に効果があるのか検証すべき。
- ・ 一者応札率については、数値目標を持ってはどうか。あるいは、現状の率が改善されなくても、なぜ改善されないのか説明する努力は継続しなければならない。
- ・ 一者応札改善のアイデアにはわかには難しいだろうが、入札・契約手続審査委員会等において問題意識を持って審査を行い、仕様書の書きぶり等についても可能な限り検討いただきたい。

#### ④ その他

##### イ 電子入札システムの導入

- ・ 電子入札は応札者側のコスト削減のメリットが大きい。また、発注者側にも競争性を高めることにより、入札差金が多く見込めるなどの隠れたメリットが期待できるのではないか。
- ・ 他の4機関との統合後に先送りしないで、電子入札の導入にトライして見てはどうか。

##### ロ HPの契約に係る表現の改善

- ・ HPの画面については、入札契約情報と分かりやすくなっており、改善されている。
- ・ 一者応札の原因の一つとして、入札情報のPR不足があると想定していたが、HPの入札情報へのアクセスが相当数あることが判明し、入札情報はきちんと業者へ伝達されていることが確認できた。

ハ 一者応札に関する企業アンケート

- ・ アンケート調査については、当面は継続し、時系列に年度比較してほしい。
- ・ アンケートを続けることによって、一者応札の改善の傾向や方向性が見えてくると思うので続けてほしい。

二 その他

- ・ 一者応札が2か年継続している案件の平均落札率の引き下げに向けて努力してほしい。
- ・ 毎回新しいテーマを設けて委員会を継続していくことが必要。世の中のために立派に貢献している研究所なので、委員会においても堂々とした姿勢での議論を期待したい。